ジャパンリンクセンター

第13回 対話・共創の場

- **日時：2027年1月29日（金）**
  13:30-18:00（13:00開場）
- **開催形式：ハイブリッド**
  - **現地会場：JST東京本部別館１階ホール**
  - **オンライン配信：Zoomビデオウェビナー**
- **テーマ：研究公正とPID**

生成AIの急速な普及は、研究活動や学術情報流通に大きな変化をもたらしています。研究成果の創出や発信が加速する一方で、論文工場（Paper Mill）や不適切な出版慣行、ギフトオーサーシップなど、研究公正を取り巻く課題もより複雑化しています。

そのような状況の中で、DOI、ORCID、ROR をはじめとする PID（永続的識別子）は、研究成果や研究者、研究機関等を結び付ける学術情報基盤として広く利用され、研究活動や学術出版の実態を可視化し、問題の発見や検証を可能にする重要な基盤として機能しています。しかし、PID の存在だけで研究不正や不適切な研究活動を防げるわけではありません。

本イベントでは、基調講演「出版公正とAI」において、生成AI時代の学術出版を取り巻く現状と、出版公正を支えるインフラとしてのPIDの役割について考察します。続くパネルディスカッションでは、実際の事例も踏まえながら、PIDは研究公正の確保にどのように貢献できるのか、またPIDの普及だけでは解決できない課題にどのように向き合うべきかについて、多様な立場から議論します。

研究活動や学術情報流通の信頼性を支える基盤としてPIDに何が期待されるのか、またPIDコミュニティとして研究公正にどのように貢献できるのかを、参加者の皆様とともに考えます。

● 基調講演のご紹介
「出版公正とAI」

同志社大学
免許資格課程センター 図書館司書課程
教授　佐藤 翔

講演概要

生成AIの急激な普及が、学術情報流通のあり方を大きく変えている。生産性の向上により出版される論文の数がさらに増える一方で、撤回論文の数や割合も増加していることが指摘されている。Predatoryな出版や論文工場など、生成AI以前から存在する問題も、AIを活用することで手法を高度化させている。こうした問題を、直接解決することはないものの、状況の「底」が抜けない一つの支えとなっているのは、PIDである。例えばPIDとしてのDOIが存在し、適切に運用されているからこそ、撤回の増加が把握できる。本講演では学術出版の公正を支える「底」、インフラストラクチャとしてのPIDの役割に光を当てていく。

● プログラム

※敬称略

13:00	**開場**
13:30-13:35	**開会挨拶**　武田 英明（JaLC運営委員会委員長、国立情報学研究所）
第一部	**メンバーミーティング**　※どなたでも、ご参加いただけます。
13:35-	**ジャパンリンクセンターの近況**　JaLC事務局　等
第二部	**テーマセッション**
14:00-14:10	**趣旨説明** 武田 英明（JaLC運営委員会委員長、国立情報学研究所）
14:10-14:50	**基調講演** **「出版公正とAI」** 佐藤 翔（同志社大学 免許資格課程センター 図書館司書課程 教授）
14:50-15:30 (10分×4件)	**各機関の取り組み紹介** ・上田 哲史　（徳島大学） ・大澤 剛士　（東京都立大学） ・田辺 浩介　（物質・材料研究機構） ・宮﨑 亜矢子（シュプリンガーネイチャー コーポレート・アフェアーズ）
15:30-15:40	**休憩**
15:40-16:40	**パネルディスカッション** モデレーター：武田 英明（JaLC運営委員会委員長、国立情報学研究所） パネリスト： ・上田 哲史　（徳島大学） ・大澤 剛士　（東京都立大学） ・小林 健輔　（岡山大学） ・佐藤 翔　（同志社大学） ・田辺 浩介　（物質・材料研究機構） ・宮﨑 亜矢子（シュプリンガーネイチャー コーポレート・アフェアーズ）
16:40-	**閉会挨拶**　**※オンライン配信終了** 武田 英明（JaLC運営委員会委員長、国立情報学研究所）
16:55-17:55	**意見交換会**　**※現地会場のみ** 対面の意見交換会を行います。オンライン配信は行いません。 是非、現地でのご参加をご検討ください。
18:00	**閉会**

上記内容については変更される可能性がございます。あらかじめ、ご了承ください。

● 参加方法

以下のフォームよりお申し込みください。

参加申し込みフォーム：https://form2.jst.go.jp/s/JaLC_event20270129_01

【本イベントに関するお問合せ】
科学技術振興機構（ JST ）情報事業部 JaLC事務局
E-mail: jalc-contact@jst.go.jp